

〈別科〉

科目名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
アカデミック日本語 I	総合実践	1	必修	前期	1	得丸智子	単独
英語科目名	Academic Japanese I		レベル	入門～初級			

〈授業概要〉

簡単な日本語で書かれた短い論理的文章を読む。内容を理解しながら語彙を学ぶ。また、使用されている文型と関連づけながら、論理の組み立て方を学ぶ。身近な出来事を自分なりに意味付け、筋道立てて話す。なお、この科目は「作文（応用）I」と連動しておこなう。

〈到達目標〉

簡単な日本語で書かれた短い論理的文章を、論理的筋道をたどりながら読むことができる。身近な出来事を自分なりに意味付け、筋道立てて話すことができる。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

授業中のパフォーマンスや提出された課題について、主に、授業中に個別にフィードバックする。

〈授業/ALの進め方〉

個人ワーク型：授業中のパフォーマンスや提出課題の指導等を通し、学生(個人)の能動的な学修を促す。
グループワーク型：ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価をおこなう。

〈利用する ICT 機器〉

適宜、書画カメラ、パソコン、プロジェクタ等を使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト（40%）、提出課題と発表（40%）、授業への積極的参加（20%）

【評価基準】

提出課題は、量（数）と内容（質）の両面から評価する。
内容（質）は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55』スリーエーネットワーク
『新日本語 500 問 N4-N5』アスク出版

〈参考書〉

授業中に適宜、指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。
出席回数が基準に達しない学生は、成績評価の対象としない。

【授業計画】

第1回	授業内容	オリエンテーション、「ファーストフード」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「ファーストフード」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第2回	授業内容	「ファーストフード」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「ファーストフード」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第3回	授業内容	「ファーストフード」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「地震」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第4回	授業内容	「地震」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「地震」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第5回	授業内容	「地震」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「地震」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第6回	授業内容	「地震」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「最近の子ども」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第7回	授業内容	「最近の子ども」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「最近の子ども」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第8回	授業内容	「最近の子ども」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「最近の子ども」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第9回	授業内容	「最近の子ども」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「日本のイメージ」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第10回	授業内容	「日本のイメージ」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「日本のイメージ」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第11回	授業内容	「日本のイメージ」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「日本のイメージ」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第12回	授業内容	「日本のイメージ」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「睡眠」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第13回	授業内容	「睡眠」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「睡眠」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第14回	授業内容	「睡眠」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「睡眠」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第15回	授業内容	「睡眠」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	リフレクションペーパーを書く(30分)、小テスト準備(30分) 他

〈別科〉

科目名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
アカデミック日本語Ⅱ	総合実践	1	必修	後期	1	得丸智子	単独
英語科目名	Academic Japanese II		レベル	初級～中級			

〈授業概要〉

「アカデミック日本語Ⅰ」に引き続き、簡単な日本語で書かれた短い論理的文章を読む。内容を理解しながら語彙を学ぶ。また、使用されている文型と関連づけながら、論理の組み立て方を学ぶ。身近な出来事を自分なりに意味付け、筋道立てて話す。なお、この科目は「作文（応用）Ⅱ」と連動しておこなう。

〈到達目標〉

中級レベルの日本語で書かれた短い論理的文章を、論理的筋道をたどりながら読むことができる。身近な出来事を自分なりに意味付け、筋道立てて話すことができる。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

授業中のパフォーマンスや提出された課題について、主に、授業中に個別にフィードバックする。

〈授業／ALの進め方〉

個人ワーク型：授業中のパフォーマンスや提出課題の指導等を通し、学生(個人)の能動的な学修を促す。
グループワーク型：ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価をおこなう。

〈利用する ICT 機器〉

適宜、書画カメラ、パソコン、プロジェクタ等を使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト（40%）、提出課題と発表（40%）、授業への積極的参加（20%）

【評価基準】

提出課題は、量（数）と内容（質）の両面から評価する。

内容（質）は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55』スリーエーネットワーク

『新日本語 500 問 N3』アスク出版

〈参考書〉

授業中に適宜、指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。

出席回数が基準に達しない学生は、成績評価の対象としない。

【授業計画】

第1回	授業内容	オリエンテーション、「日本人の発明」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「日本人の発明」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第2回	授業内容	「日本人の発明」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「日本人の発明」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第3回	授業内容	「日本人の発明」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「リサイクルとフリーマーケット」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第4回	授業内容	「リサイクルとフリーマーケット」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「リサイクルとフリーマーケット」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第5回	授業内容	「リサイクルとフリーマーケット」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「リサイクルとc」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第6回	授業内容	「リサイクルとフリーマーケット」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「あいづち」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第7回	授業内容	「あいづち」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「あいづち」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第8回	授業内容	「あいづち」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「あいづち」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第9回	授業内容	「あいづち」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「男の仕事・女の仕事」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第10回	授業内容	「男の仕事・女の仕事」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「男の仕事・女の仕事」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第11回	授業内容	「男の仕事・女の仕事」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「男の仕事・女の仕事」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第12回	授業内容	「男の仕事・女の仕事」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	「ことばの使い方」をトピックとする論理的文章の音読と読解の準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第13回	授業内容	「ことばの使い方」をトピックとする論理的文章の音読と読解、小テスト 他
	事前事後学修	「ことばの使い方」をトピックとする論理的文章の音読と読解の復習(30分)、小テスト準備(30分) 他
第14回	授業内容	「ことばの使い方」をトピックとする論理的思考、小テスト 他
	事前事後学修	「ことばの使い方」をトピックとして筋道立てて話す準備(30分)、小テスト準備(30分) 他
第15回	授業内容	「ことばの使い方」をトピックとして筋道立てて話す、小テスト 他
	事前事後学修	リフレクションペーパーを書く(30分)、小テスト準備(30分) 他